

# 一般財団法人東海テレビ国際基金 2024年度事業報告

(2024年4月1日～2025年3月31日)

国際理解の促進と国際交流の推進のため、より有意義な事業を効率的に実施して目的を達成するよう努めた。

## 1. 自主企画事業 (定款 第4条第1項第3号)

### 「SDGs国際交流イベントおよび多文化交流プログラム」の実施

6月には、外国人と日本人の小学生とその親が参加した国際交流イベントを、大府市役所多目的ホールで開催した。まず参加者は、国際交流の意義について説明を受けた。国際交流には、言語力のアップ、様々な価値観や地域特性の理解、地域社会や文化の再構築、産業や経済の活性化などのメリットがあり、参加者はグローバル化が進む中、その必要性がますます高まっている現状を認識した。次に、小学生たちが楽しく交流しながらSDGsに関連したワークショップを体験し、相互理解を深めた。具体的には、参加者が1チーム3名のグループとなり、ごみイラストが描かれたボールをマジックハンドで拾って分別箱に入れる。分別の際にごみが何に生まれ変わるかを考えることで、リサイクルの流れを学んだ。また、ペットボトルのキャップを使ってブローチを作ることで、普段はごみとして処分している廃材を再利用することの重要性を学んだ。最後に、参加者がワークショップを通じて体験した国際交流やSDGsについての様々な感想を話し合うことで、相互理解を深めた。参加者は、ウクライナ、ベトナム、タンザニア、ブラジル、デンマーク、コロンビア、タイ、フィリピンおよび日本の小学生とその親たち約110名。

12月には、ユニバーサルスポーツの「ボッチャ」を通じての多文化交流プログラムを名古屋市中東区の「AOI CELESTIE (アオイ・セlestie) ボッチャコート」で開催した。このプログラムは、年齢・国籍・性別・障がいの有無・体力の差などに関係なく誰もが楽しめるユニバーサルスポーツの「ボッチャ」を通じて各国の参加者の相互理解を深めることが目的で行われた。最初に、外国人および日本人の高校生たちが2人のパラアスリートから、ボッチャ世界大会で経験した海外選手との交流についての話を聞き、ユニバーサルスポーツの意義と国際交流の理解を深めた。次に、2人のパラアスリートの世界トップレベルの技を間近で見るとともに、自ら体験し挑戦することでボッチャの魅力を体感した。最後は、「ユニバーサルスポーツのミライ」をテーマにしたグループトークで、今後のユニバーサルスポーツの普及についての様々な意見を交換し、参加者同士の相互理解を深めた。参加者は、イギリス、アメリカ、フィンランド、韓国、ドイツ、トルコ、タイ、スロバキア、オーストリア、インド、イタリアおよび日本など15か国の42名の高校生。

(2024年6月16日実施、決算125万円。12月18日実施、決算112万6805円。

決算合計 237万6805円)

## 2. 助成事業（定款 第4条第1項第2号）

### (1) 「鈴鹿国際交流フェスタ2024 わいわい春まつり」への助成

鈴鹿国際交流協会主催。鈴鹿ハンターおよび弁天山公園で開催。各国の舞踊やダンス、キッチンカーによる外国料理の提供、民芸品の販売などを通じて他国への関心を広げることで、日本人と在住外国人の交流を深め、国際協力、多文化共生を推進した。約3,000名の参加で、日本人と外国人が半数ずつ。出身国は、ブラジル、フィリピン、スリランカ、ペルー、中国、韓国など約20か国。

（2024年4月21日実施、決算10万円）

### (2) 「国際交流フェスタinながくて2024」への助成

長久手市国際交流協会主催。リニモテラス公益施設ほかで開催。長久手市国際交流協会設立30周年記念事業。国際交流、多文化共生、姉妹都市交流など多彩な事業を実施してきた協会の30年の歴史を紹介する展示を行った。また、文化・音楽・伝統美術工芸・食文化などのワークショップを通じて、市民に多文化共生の意識を高めてもらった。約1600名が参加、そのうち外国人は、ベトナム、インドネシア、アフリカ、ベルギー、ウクライナ、アメリカ(ハワイ)、ネパールなど10か国300名ほど。

（2024年5月25日実施、決算10万円）

### (3) 「第16回TIRA国際スポーツ交流会」への助成

豊明市国際交流協会主催。豊明市福祉体育館で開催。キンボール(カナダ発祥、巨大で軽いアドバルーンのようなボールを床に落とさないようチームで協力し合う競技)などの軽スポーツを通じて、豊明市民と外国人市民の交流を図った。105名(うち外国人27名)が参加。出身は、ベトナム、ブラジル、アメリカ、インドネシア、中国、インドなど8か国。

（2024年6月9日実施、決算5万円）

### (4) 「産業革命と日本の近代化の歴史を学ぶ英国研修の中学生募集」への助成

特定非営利活動法人「知多から世界へ」主催。知多地域の公立中学1年生22名が、英国シェールズベリーに滞在し、産業革命と日本の近代化の歴史を学んだ。ホームステイによる生活体験や語学研修、地元高校生との交流を行うことで、国際理解や国際感覚を高めた。

（2024年7月27日～8月13日実施、決算13万円）

### (5) 「国際交流・国際協力・NGO 入門講座の開催」への助成

運営母体は特定非営利活動法人名古屋NGOセンター。名古屋市内の会議室にてオンラインで開催。世界で起こっている様々な課題や問題をワークショップ形式で話し合うことで、参加者に自らの問題として捉えてもらい、持続可能な社会を作る担い手を育成した。年4回のべ61名が参加。（2024年8月3日、10月19日、12月15日、

2025年1月19日に実施、決算7万5000円）

(6) 「2024年度CISV国際交流プログラム ユースミーティング日本大会」への助成

CISV日本協会東海支部主催。尾張旭市のさもと館で開催。世界7か国(ブラジル・カナダ・チェコ・イタリア・フィリピン・アメリカ・日本)から集まった12、13歳の青少年とスタッフ42名が1週間のキャンプ生活を体験した。学習やレクリエーションを通じて、人種・国籍を超えた友情を育み、国際平和の理解を深めた。

(2024年8月4日～11日実施、決算10万円)

(7) 「第29回国際交流フェスティバル」への助成

江南市国際交流協会主催。江南市文化会館で開催。外国人の日本語による学習者によるスピーチ大会や、フラダンス、三味線、外国の紙芝居や民族衣装体験などを通じて、市民と在住外国人が交流を深めた。参加者は約1,200名で、このうち外国人は約400名。ベトナム、ネパール、ペルー、インドネシアなど約20か国の在住外国人が参加。

(2024年8月18日実施、決算10万円)

(8) 「愛知 セパタクロー国際交流体験会オープン選手権大会」への助成

愛知県セパタクロー協会主催。至学館大学体育館で開催。東南アジア発祥のスポーツ「セパタクロー」の体験をテーマとしたスポーツ交流会(期間中全6回、各3時間)およびオープン選手権大会(1月12日)を通じて、言葉・文化・年齢の壁を越え一緒に体験することで、外国人住民との相互理解の増進を図った。参加者のべ374名のうち外国人が34名。

(2024年9月8日～2025年1月12日に実施、決算5万円)

(9) 「あいち国際女性映画祭2024」への助成

あいち男女共同参画財団の主催。ウィルあいちおよびミッドランドスクエアシネマで開催。外国人10名を含む31名の女性監督を招待し、様々なテーマの作品を上映。また、トークイベントやシンポジウムを通じて女性の社会進出の支援や国際交流の推進を図った。今回は海外の21作品を含む36作品を上映、来場者は約13,000名。

(2024年9月5日～8日実施、決算15万円)

(10) 「世界を遊ぼう！フレンドシップフェスティバル」への助成

一宮市国際交流協会主催。イオンモール木曾川で開催。イタリア、ニュージーランド、中国、ベトナム、韓国、エジプトなど8か国の在住外国人が参加。ステージや異文化を体験できるワンコインワークショップ、世界の遊び体験などを通じて、広く市民の国際交流・国際理解の推進と啓発を図った。参加者は約1,200名でこのうち外国人が約400名。

(2024年9月21日～22日実施、決算15万円)

(11) 「伊賀市国際交流フェスタ2024」への助成

伊賀市国際交流協会主催。JAいがふるさと「とれたて市ひぞっこ」前の駐車場で開催。外国の食物・物品の販売や外国と日本の音楽・舞踊のステージを通じて、伊賀市在住の外国人と日本人との国際交流や多文化共生の理解を深めた。参加者は約1,500名で、このうち外国人が約600名。出身国は、ブラジル、ペルー、ベトナム、フィリピン、中国など7か国。

(2024年10月6日実施、決算15万円)

(12) 「シスターシティフェスティバル2024」への助成

名古屋姉妹友好都市協会主催。栄のオアシス21で開催。名古屋の姉妹友好6都市(ロサンゼルス市・メキシコ市・南京市・シドニー市・トリノ市・ランス市)の歌やダンスをステージで披露するとともに食文化、観光などをブースで紹介することにより、市民に姉妹友好都市の魅力を体感し、国際理解を深めてもらった。来場者は約36,000名、うち外国人が約2,000名。

(2024年10月19日～20日実施、決算20万円)

(13) 「ワールド・コロボ・フェスタ2024」への助成

愛知県国際交流協会主催。栄のオアシス21で開催。市民・NGO・NPO・企業・行政等の協力による各国の歌や踊りの披露や楽器演奏のパフォーマンス、多文化共生のトークイベントなどを通じて、中部地域の国際交流・国際協力・多文化共生の活動を広げ、「学び、考え、行動する場」をつくりあげた。来場者は約61,000名、うち外国人は約13,000名。出身国は、フィリピン、ベトナム、エジプト、トルコ、ウクライナ、中国、ネパール、スリランカ、アメリカ(ハワイ)、タヒチなど約20か国。

(2024年10月26日～27日実施、決算20万円)

(14) 「第42回全日本中国語スピーチコンテスト 愛知県大会」への助成

特定非営利活動法人愛知県日中友好協会主催。愛知工業大学自由が丘キャンパスで開催。日本人18名が参加。今回は愛知県日中友好協会創立70周年記念大会。中国語の普及や中国語学習者の学習意欲の向上に貢献し、日中友好の増進と国際理解を深めることを目的として開催。3部門の最優秀者3名の全国大会出場が決定した。

(2024年11月2日実施、決算7万5000円)

(15) 「第54回草花展」への助成

美術協会「風」主催。小牧市北里市民センターで開催。今回は日本の草花がテーマ。日本在住の外国人と日本人が、日常を彩る草花の風景を日本と海外それぞれの視点から描き、各国の自然に対するイメージの違いを話し合うことで海外文化の理解を深め、国際交流のきっかけをつくった。フランス、ミャンマー、ベトナム、オーストラリア、中国、ブルガリアなど10か国出身の外国人および日本人の作家の絵画10点や写真20点が展示された

(2024年11月9日～16日実施、決算5万円)

(16) 「とよはしインターナショナルフェスティバル2024」への助成

豊橋市国際交流協会主催。豊橋市まちなか広場およびemCAMPUSで開催。各国の音楽演奏とダンスや日本語スピーチコンテスト、国際交流団体の紹介パネル展などを通じて、在住外国人と市民がこれからの国際交流や国際協力の在り方を考えた。台湾、ウクライナ、中国、インド、ブラジル、ペルー、ドイツ、イタリアなど10か国の外国人約3,000名を含む約6,000名の来場者でにぎわった。

(2024年11月10日実施、決算10万円)

(17) 「小牧市国際交流ふれあいフェスタ」への助成

小牧市国際交流協会設立30周年記念事業。小牧市まなび創造館で開催。各国の舞踊等の舞台発表やキッチンカーによる各国料理、着物の試着などの多種多様なプログラムを通じて日本人と外国人との国際交流の推進を図った。参加者は約300人で外国人は約100人。出身国は、中国、ブラジル、韓国、アルゼンチン、フィリピンなど約10か国。

(2024年12月1日実施、決算15万円)

(18) 「ワールドフェスティバル2024」への助成

豊川市国際交流協会主催。豊川市勤労福祉会館で開催。世界6か国のグルメコーナーの出店や各国の演奏、鉄道模型の展示などを通じて地域住民と外国人との交流を深め、相互理解と国際親善の推進を図った。参加者は約2,400名、うち外国人が約1,000名。出身国は、ウクライナ、中国、フランス、アメリカ、ネパール、フィリピン、タイなど。

(2024年12月8日実施、決算10万円)

(19) 「いせ国際交流日本語スピーチ大会」への助成

伊勢市国際交流協会主催。シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢で開催。県内在住の外国人応募者から選ばれた14名が、「日本に住んで感じていること、考えていること」をテーマに日本語で発表し、5名が審査員から表彰された。開催を通じて市民と外国人の国際交流を促進し、相互理解を深めた。

(2024年12月14日実施、決算6万円)

(20) 「オーストラリア・ダボ・ウィークイベント」への助成

特定非営利活動法人美濃加茂国際交流協会主催。美濃加茂市民ミュージアムで開催。美濃加茂市と豪ダボ市との姉妹都市提携35周年記念事業。ダボ市の文化を体験するワークショップや両市小学生の絵画展示などを通じて、異文化理解の促進や国際交流のきっかけ作りを行った。参加者は、日本人の小中学生と高校生ボランティア併せて約180名。

(2025年1月25日～26日実施、決算8万円)

(21) 「第15回東三河日本語スピーチコンテスト」への助成

東三河5市合同の実行委員会主催。田原文化会館文化ホールで開催。豊橋・豊川・蒲郡・新城・田原の5市在住の日本人3名を含む外国人小・中・高校生24名参加による日本語スピーチコンテスト。外国人の出身国は、ボリビア、中国、フィリピン、ブラジル、インドネシア、マレーシア、ベトナムなど。コンテストを通じて地域の多文化共生理解を深め、国際交流の推進を図った。

(2025年1月26日実施、決算10万円)

(22) 「大府市国際交流デー」への助成

大府市国際交流協会主催。大府市役所地下多目的ホールで開催。外国人によるステージイベントの披露や多国籍料理の提供を通じて、市内在住の外国人と市民の交流機会を作り、市民の国際理解を深めた。参加者は約300名で、うち外国人が約150名。出身国は、ペルー、マレーシア、ベトナム、インドネシア、イラン、中国、韓国など10か国。

(2025年2月2日実施、決算8万円)

(23) 「くむんだーを使った日豪文化交流」への助成

郡上を中心に活動する建築家集団「くむんだー郡上」が、日本の伝統的木造建築の技術を用いたジャングルジム「くむんだー」を、オーストラリアのホバート市で2月7日～12日開催の「The Australian Wooden Boat Festival」に出展した。そこで、外国人来場者に日本の伝統的な建築技術を紹介し体験してもらうことで、日本文化を理解してもらい、日本に対する愛着心を深めてもらった。期間中は7つのワークショップを展開し、参加者は約2200人であった。引き続き、2月15日～17日にはシドニー市でも建築技術のレクチャーと実技体験を行い、70名の外国人が参加した。

(2025年2月7日～17日実施、決算20万円)

(24) 「節分を味わえる国際交流茶会」への助成

公益財団法人四日市市文化まちづくり財団国際交流グループ主催。本町プラザで開催。外国人が日本の代表的な文化の茶道、着物の着付け、昔からのお正月の遊びなどを体験することで、日本文化をより深く理解し日本人との交流を深めた。外国人70名を含む106名が参加。出身は、ベトナム・インドネシア・タイ・ネパールなど。

(2025年2月9日実施、決算7万5000円)

(25) 「第2回きよす国際交流まつり」への助成

清須市国際交流協会主催。清須市西枇杷島会館で開催。県内在住の外国人や留学生と市民が参加。各国の演舞や日本の和太鼓の演奏、各国の遊びや日本文化の紹介などを通じて国際交流を図った。参加者は254名で、うち外国人が約40名。外国人の出身ネパール、中国、韓国、スペイン、ブラジル、ウクライナなど10か国。

(2025年2月16日実施、決算10万円)

助成事業費 計 272万5000円

事業費 合計 510万1805円

### 3. 役員会等に関する事項

① 理事会

第30回 2024年5月21日

議事事項

2023年度事業報告案の件	可決
2023年度収支決算案の件	可決
2023年度公益目的支出計画実施報告書案の件	可決
第15回評議員会開催の件 6月28日開催について	可決

第31回 2024年6月28日

議事事項

代表理事・業務執行理事選任の件	可決
-----------------	----

第32回 2025年3月28日

議事事項

2025年度事業計画案の件	可決
2025年度収支予算案の件	可決

② 評議員会

第15回 2024年6月28日

議事事項

2023年度事業報告案の件	可決
2023年度収支決算案の件	可決
2023年度公益目的支出計画実施報告書案の件	可決
役員改選の件	可決

4. 役員に関する事項

2024年6月28日

理事の選任

石田 秀翠(本名:暢夫)(重任) 郡 健二郎(重任) 小島 浩資(重任)  
新開 輝夫(重任) 祖父江 茂樹(重任) 御園 慎一郎(重任)  
森 正夫 (重任) ロバート・キサラ(重任)

監事の選任

近藤 克麿(重任) 西村 眞 (重任)

2024年6月28日

代表理事の選任

小島 浩資

業務執行理事の選任

祖父江 茂樹

以 上